

政策形成能力・機能を高める

自治体職員の政策形成能力の向上は、大きく変化する社会状況に対応するためにも必要である。本県では、研修の一環として政策形成過程を学ぶ場を設け、職員の政策企画力を向上させる取組を行っているほか、職員の自発的な政策研究活動の支援を行っている。また、県内には、政策形成機能の強化に向け、様々な取組を行っている自治体がある。自治体職員の政策形成能力の向上を目指す取組がさらに広がることを期待して、こうした取組の一端を紹介する。

今回は、神奈川県の新規採用職員研修における政策提案、神奈川県庁の自主研究グループの取組、鎌倉市政策創造担当を取り上げる。



写真上：[新規採用職員研修(後期研修)の政策提案発表の様子]
写真下：[自主研究グループ「かながわ政策塾」の活動の様子]

